

2021年4月22日

JR東日本 仙台支社

JR仙台病院に最新の「血管撮影装置」を導入しました

JR仙台病院では、医師、看護師をはじめ多くの医療社員が連携しながら一人の患者さまの治療にあたる「チーム医療」を推進しています。患者さま中心の安全で良質な医療を提供するため、医療機能の分担・連携による切れ目のない仙台医療圏の環境づくりの取り組みに努めるとともに、計画的に最新医療機器の整備を進めています。

この度、当院では最新の「血管撮影装置」を導入し、血管内治療の充実及び心臓カテーテル検査・治療を再開する準備をしておりますので、お知らせいたします。

1 最新の血管撮影装置を導入

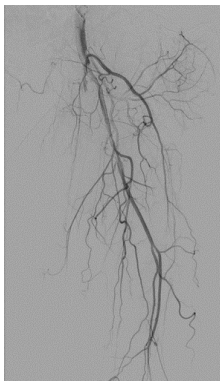
血管撮影装置による検査はこれまでも行っておりますが、今回導入した装置では良質な血管造影画像が得られるだけでなく、患者さまの身体への影響を最小限に抑えた検査・治療を行うことが可能となりました。

なお、当院はこの血管撮影装置を使用している全国でも数少ない病院となっております。

※血管撮影装置とは

体内を透過したX線を画像化する装置であり、血管を画像上で表現するために特化した多軌道構造と画像処理技術を搭載している

足の血管造影画像



今回導入した血管撮影装置



2 患者さまのメリット

撮影画像の鮮明化により検査時間が短縮されるだけでなく、被ばく量が最低限に抑えられ、造影剤の使用量も半減されることから副作用のリスクにつきましても患者さまの負担が軽減されます。

3 血管撮影装置を使用した検査・治療について

(1) 血管内治療(心臓領域を除く)

肝臓癌など悪性腫瘍の治療や難治性消化管出血時の緊急止血、原発性アルドステロン症(副腎腫瘍)疑いの患者さまへ実施する副腎静脈サンプリングなどを行います。

・2021年4月5日(月)肝動脈塞栓術で肝臓癌に栄養を送る血管を塞栓し、栄養血管を消失させることで癌を壊死させる治療を行いました。

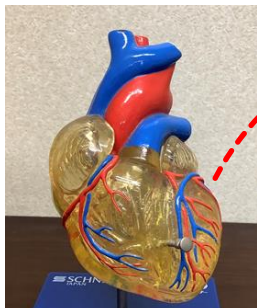
※原発性アルドステロン症(副腎腫瘍)とは

副腎(腎臓の上にある臓器)からアルドステロンと呼ばれる血圧を調整する役割をもつホルモンが大量に出てしまう病気

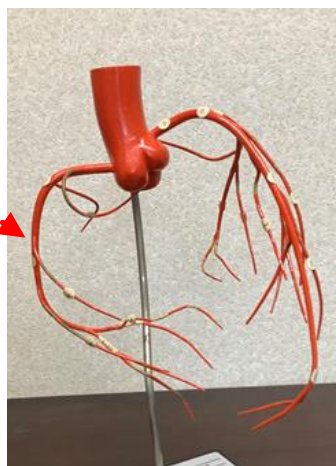
(2)冠動脈(心臓領域)検査・治療(再開準備中)

心臓の栄養血管である冠動脈に対し、造影検査及び血管狭窄部位へのステント留置術を行います。

※ 心臓 模型



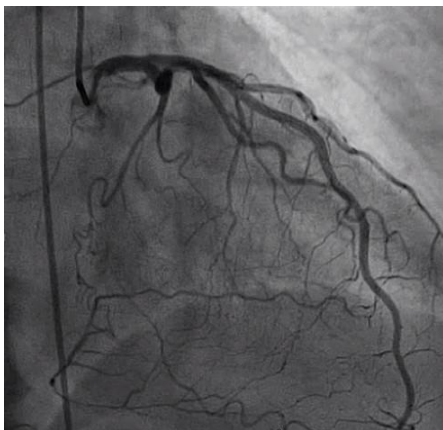
※ 冠動脈 模型



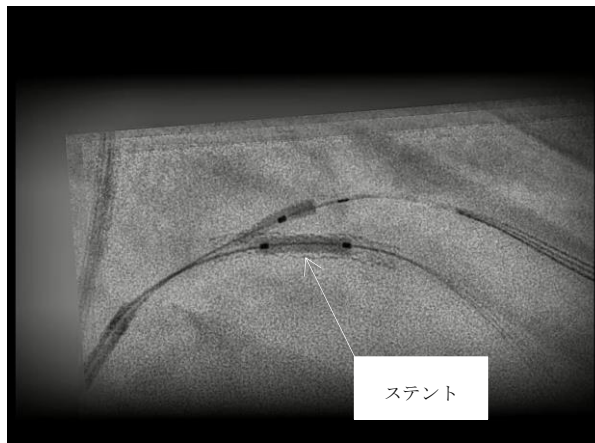
冠動脈

冠動脈撮影イメージ

左冠動脈イメージ



ステント留置術イメージ



4 稼働日

2021年4月5日(月)から稼働開始

【JR仙台病院の概要】

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1丁目1-5 (JR仙台駅より徒歩7分)

- ・病床数: 192床 (4床部屋 33室、2床部屋 13室、個室 34室)
- ・院長名: 佐藤 博
- ・診療科数: 15科 (循環器内科、消化器内科、内科、外科、整形外科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、精神・神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科)

※下線は入院体制のある科

- ・開院: 大正10年(仙台鉄道病院)
※昭和57年 保健医療機関の指定を受け一般開放

JR仙台病院に関する詳細は、ホームページ(<https://jrseidai-hospital.jp/>)をご覧ください。